



FIWA®代表理事リレー投稿 「ファイナンシャル・ヒーリング講座のご案内」



寄稿: FIWA®協会
理事長 岡本 和久

FIWA®の理事長、岡本和久です。過去、15年ぐらいにわたって私は投資教育家&ファイナンシャル・ヒーラー®と名乗って活動をしています。「このファイナンシャル・ヒーラー®」という言葉、よく「どんな意味なんですか」と聞かれます。ちょっと怪しげ?と思われるのかもしれませんが。この名称は2009年の2月に登録商標をしました。しかし、実際にはもっとうっと前からこの名称を気に入り使ってきています。

有名な投資のグル、ウォーレンバフェットさんの言葉でこのようなものがあります。

生涯を通じた投資で成功をするためには、飛びぬけたIQも、非凡なビジネス・センスも、インサイダー情報もいらない。ただ、必要とされるのは、投資判断のための健全で知的なフレームワークと、感情のブレがそのフレームワークを破壊しないように心がけることだけである。

まさにこの言葉の中にある「投資判断のための健全で知的なフレームワーク」、これを提供するのが投資教育です。そして「感情のブレがそのフレームワークを破壊しないように心がけること」、これがファイナンシャル・ヒーラー®の仕事なのです。ヒーラーというのはもちろん「癒しを与える人」のことです。バフェットさんも同じことを言っているというので心を強くしたことを覚えています。

長い間、投資を続けていると、その間に、いろいろな出来事に遭遇します。バブルの発生や崩壊、危機、ショックなど次から次に発生します。そのような時、どうしても投資家の心にストレスが生じます。自分のしていることが正しいのだろうか。虎の子の資産が目減りして大変なことになってしまうのではないか。そして不安感に負けてせっかく始めた資産運用を止めてしまう。





FIWA®通信「インベストラ이프」

逆もあります。株価がどんどん上がりだすと利益を確定したくなる。「また、下がったら再度始めればいい」そう思って積立投資を止めてしまう。しかし、ほとんどの場合、一度、止めてしまうとなかなか再スタートはできないものです。なぜならどこが底かなど事前には分からないからです。

人生を通じての資産運用を始めるのは非常に簡単です。しかし、本当に難しいのはそれを続けることです。しかし、続けなければ効果を得ることができないのです。何が起こっても止めないで続ける。その覚悟が大事です。その覚悟を固める上で必要なサポートを与えるのがファイナンシャル・ヒーラー®の仕事なのです。長期投資の長旅の伴走者として適切なサポートをしていく。「癒し」を与える。それがファイナンシャル・ヒーラー®です。

多くの人にはできるだけ早く、できるだけ安全に、そして、できるだけたくさん儲けたいと思っています。しかし、実際にはそれは不可能です。要するに、「早く」か「安全に」かのどちらかを犠牲にしないと「儲けたい」を達成できない。残念なことに、多くの方は「早く」を選んでしまいます。目先の欲望を満たすことにつられて「安全に」を犠牲にしてしまうのです。

それはわからないことではありません。株価は大きく上にも下にも変動する、だから、できるだけ短期で儲けを確定した方がよい。そんな誘惑に負けてしまうのです。でも、本当に大きな資産形成は長期で十分に分散されたポートフォリオを保有することによって可能となります。株式を買うということは企業の株主資本の一部を保有することです。企業の株主資本は長い時間をかけてゆっくり増えていくものです。ですから株価に価値の増加が反映されるにも時間がかかるのです。

短期で大きく儲ける人も事実います。そういう人は「運が良かった」ということです。「自分がマネしてもうまくいかない」、そう割り切って考えた方が安全です。要するに「安全に」を犠牲にすると、見込みが外れて酷い目に遭うということになってしまうわけです。それでは、現実にとしたらいいかといえば「ゆっくりと時間をかけて、十分に分散されたポートフォリオを積立投資する。それをひたすら続けて、何が起こっても絶対に止めない」ということです。

もちろん、投資にはいろいろな目的があります。機関投資家のプロもいれば、個人で投機が大好きな人もいるでしょう。投資目的や投資期間、投資の手法はみんな違うわけですから、それぞれいろいろあっていいのです。しかし、リタイア後のための資産形成を目的としている人が投機に喜びを感じている人のマネをしても火傷をするだけです。

人生を通じての資産運用は「理論的に整合性があり、実証的に有効な資産運用」を長く続けるということが非常に重要です。そして、資産運用の目的を明確にする。ただ単にお金をたくさん儲け



FIWA®通信「インベストライフ」

るというだけではないでしょう。私は「将来の経済的な束縛を軽減し、同時に心の中の幸福感を増大化していく」ことこそ人生を通じての資産運用の大きな目標だと考えています。

私が行っているファイナンシャル・ヒーリング講座では最も重要な4本の柱を考えています。それは今お話したこととも関連しますが、まず第1に投資理論の基礎的知識を持つということです。決して難しい投資理論が必要だということではありません。本当に基本的なポートフォリオ理論の基礎知識を持っていると投資耐久力を付ける上で非常に有効です。

ファイナンシャル・ヒーリング 4本の柱



2番目が歴史です。自分の行っている資産運用が実証的に有効であること。そのためには、経済や証券市場の歴史を学ぶことが大事です。もちろん歴史は繰り返すわけではありませんが歴史から学ぶことは非常にたくさんあります。将来を予測するというよりも現在起こっていることを理解する上で非常に役立つのです。そして資産運用に長期的な視点を持つことができるようになります。

そして3番目が具体的な資産運用の方法です。分散・積立・長期・継続が人生を通じての資産運用では重要なわけですが、1番目の投資理論、2番目の歴史を学んで行きつく先は、非常に面白いことにとっても単純な運用手法です。その方法をしっかりと頭脳にしみ込ませることが大切です。

そして最後の4番目の柱が「お金と心」です。投資の最終的な目的は、お金の面では「金融的束縛の軽減」、心の面では「幸福感の増大」という二つに集約できるのではないのでしょうか。言い換えれば人生を通じての資産運用は「しあわせ持ちへのロードマップ」なのです。お金は我々が「ご縁のネットワークのなかで生かされている」ことを気づかせてくれます。投資は時間をどう使うかということです。それは「この人生で与えられた時間をどう生きるか」ということです。つまり、資産運用の究極の目的は「ご縁のネットワークのなかでどう生き方」を学ぶことでもあります。

ファイナンシャル・ヒーリング®の4つの柱は「投資理論」、「歴史」、「資産運用」と「お金と心」です。現在、私はFIWA®マンスリー・セミナーでファイナンシャル・ヒーリング講座を続けています。完全にオンライン開催ですのでどの地域の方もご参加いただけます。このセミナーでは私の講演に加え、さまざまな分野のゲストをお迎えしてお話を伺い、終了後、フリー・ディスカッションの時間があります。毎月のマンスリー・セミナーの内容はこのネット・マガジンの下の方に掲載しています。

また、すでに行った私の講演の動画もありますのでご希望の方はご相談ください。いつからでも、どの講演からでも始めることができます。毎回、約1時間の動画です。現時点では以下の動画があります。今後も追加をしていきます。



《現在、動画収録済みの講演内容》

投資理論

- 長期投資に役立つ投資理論
- 証券の価値を求めて
- 達人たちの投資哲学

歴史

- お金、株式会社、資本市場の歴史、そして、未来は・・・
- メガトレンドと資産運用の将来
- 日本株式市場史～戦後編(4月公開予定)

資産運用

- 「和風」企業経営と資産運用
- 超長期投資のススメ
- 人生を通じての資産運用
- 個別銘柄分析と投資信託の選び方(3月公開予定)

お金と心、その他

- ヤングアダルトのための時間の使い方
- 長期投資成功の秘訣はアジア的感性にあり
- 子供にお金をどう教えるか

お問い合わせ: joho@fiwa.or.jp